

コンテナを使った CNG ほかの物流と地域産業の進展



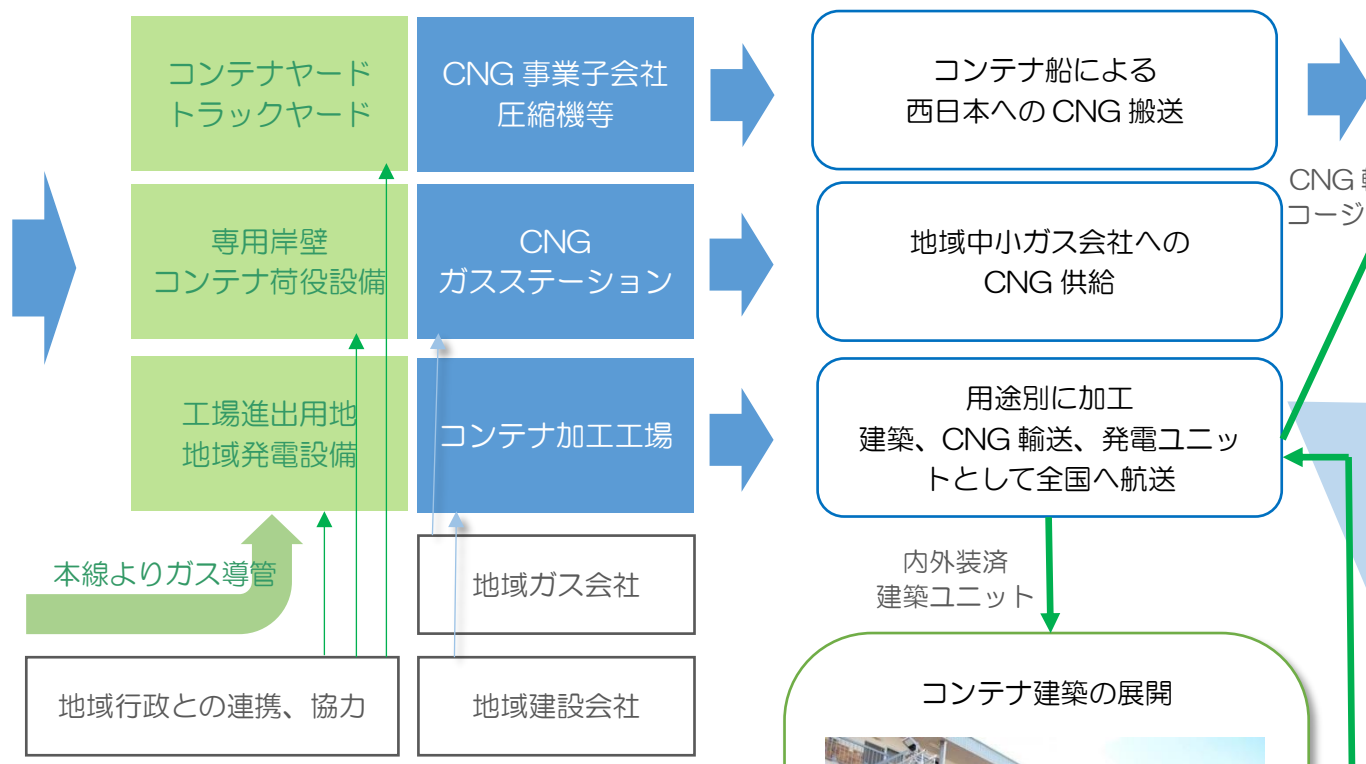
相馬港の1号・2号・3号ふ頭には、13バースの公共岸壁があります。また5号ふ頭には相馬共同火力発電(株)の専用岸壁があります。なお、5号ふ頭には分譲可能な広大用地(約81,000m²)があります。



相馬港の利用メリット
重要港湾相馬港は、仙台塩釜港と小笠浜港のほぼ中間に位置する港です。ご利用いただくユーザーの皆様のコスト削減に貢献する港として期待されています。九州・関西など西日本から、東日本への海上輸送に便利な港です。

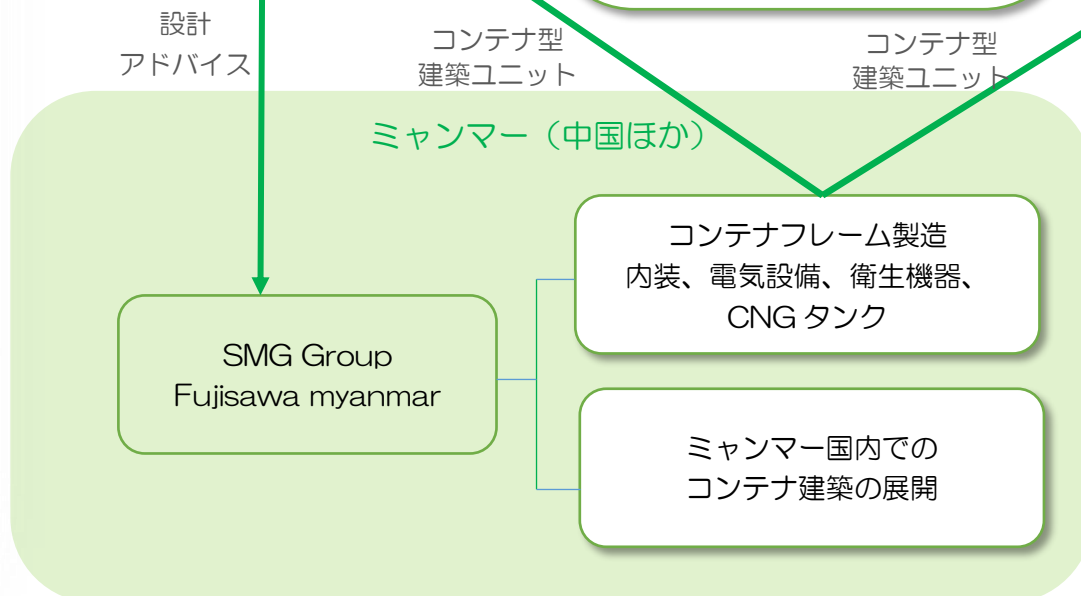
- 仙台圏に近い港
- 入港船舶の輻輳や沖待ちがない港
- 野積場・上屋の確保が容易な港
- 貨物の特性に応じた荷役のできる港
- 背後に広大な工業団地が広がる港
- 静穏度の高い港

相馬港を拠点とした東北と西日本の物流のモーダルシフト



相馬港は、東北～西日本の物流拠点としてメーカー進出の工業地域として進展

大屋和彦
Archimetal.jp&Co.



西日本、顧客、消費者へ

CNG輸送コンテナ
コージェネコンテナ

CNG関連事業

NG圧縮技術

輸送用CNGタンク



工業用、家庭用CNGタンク

NG発電、コージェネシステム



スマートシティ&IoTシステム

ISOコンテナとすることのメリット

世界のコンテナのロジスティクスを利用できる
海上、陸上の輸送が可能
輸送時はコンテナとしての機能、
設置すれば、①建築、②設備機器、プラント、③災害時の
備蓄基地としての機能

大屋型コンテナとすることにより
① 日本の建築基準を満たし耐震性能は震度6強
② ラーメン構造の鉄骨造となり壁面使用が自由
(一般は壁面にて強度を保たせる)
③ コストの安い地域での製造でき、現場工事も簡素化
※海上へのモーダルシフトにより輸送コスト削減と物流の
CO2削減が可能となる